

原 著

- 前田 知・城浦治男 (1954).
花木類の自発休眠に関する研究 (第1報) 自発休眠後期と挿し木適期.
農業及園芸 29 (11) : 1411-1442.
- 前田 知・吉岡正八 (1955).
柿の断根に関する一観察.
農業及園芸 30 (4) : 593-594.
- 前田 知・多田良行 (1955).
柿炭疽病の冬芽越冬.
農業及園芸 31 (2) : 347-348.
- 前田 知 (1956).
柿炭疽病の冬芽越冬の経路
農業及園芸 31 (2) : 347-348.
- 前田 知・吉田清一・城浦治男 (1959).
柿果実の機能に関する研究 (第1報) 柿果実特に蒂部の形態的観察.
農業及園芸 34 (2) : 379-380.
- 前田 知・多田良行 (1959).
柿果実の機能に関する研究 (第2報) 柿果蒂片の除去が果実の肥大および落果に及ぼす影響.
農業及園芸 34 (4) : 675-676.
- 前田 知・塩田芳之 (1959).
柿果実の呼吸に関する研究 (第1報) 柿果実呼吸量の季節的变化.
農業及園芸 34 (6) : 977-978.
- 前田 知・塩田芳之 (1959).
柿果実の呼吸に関する研究 (第2報) 脱波処理に於ける柿果実の呼吸について.
農業及園芸 34 (9) : 1431-1432.
- 前田 知・吉田清一・城浦治男 (1959).
柿果実の呼吸に関する研究 (第3報) 柿果貯蔵中の糖度, 高度, 減量歩合と呼吸作用との関係.
農業及園芸 34 (11) : 1727-1728.
- 前田 知 (1961).
柿果実の離層の発達に関する研究—離層形成に関する一仮説の提案—
農業及園芸 36 (4) : 704-706.
- 前田 知・福居幸治・多田良行・城浦治男 (1963).
富有柿の季節的乾燥処理と果実の肥大生長—電気伝導水分計による灌漑適期の把握—
農業及園芸 38 (6) : 977-978.
- 前田 知・城浦治男・広川升一 (1963).
梨 (長十郎) に対する RP 剤の利用試験 (第1報) RP 剤の種類, 濃度, 散布時期と熟期促進効果との関係.
農業及園芸 35 (6) : 977-978.
- 前田 知・多田良行・城浦治男・村上 來 (1967).
柿炭そ病に対する柿品種の抵抗性差異ならびに薬剤防除に関する研究.
徳島果試研究報告 No.1. 71-81.
- Maeda, S., Tada, Y., Shiroura, H., and Murakami, k. (1967).
Variability of resistance of Japanese persimmon varieties to the anthracnose disease caused by *Gloesporium Kaki Ito.* and chemical control of the disease.
Bull. Tokushima Hort. Expt. Sta. No.1, 71-81 (Japanese with English summary).
- 前田 知 (1968).
柿果における蒂の組織学的ならびに生理学的研究.
徳島果試特別報告 第2号 (昭和43年5月) 51頁.
- Maeda, S. (1968).
Histological and physiological studies on the calyx of persimmon fruit. Special Bull. Tokushima Hort. Exp. Sta. No.2, pp. 1-51, 29 tables, 38 figures (Japanese with English summary).
- 前田 知・村上 來 (1969).
ウメ新品種「月世界」について
徳島果試研究報告 No.2, 31-34.

- Maeda, S. and Murakami, k. (1969).
On the new Japanese mume variety "Getusekai". Bull.
Tokushima Hort. Expt. Sta.No.2, 31-34.
(Japanese with English summary).
- 行成正昭 (1971).
徳島県のナシ園におけるハマキガ類の発生消長の観察例.
日応動昆会誌 15(4) : 266-269
- Tchikawa, T. and M, Yukinari. (1974).
Parasities of *Goniozus japonicus* Ashmead (hymenoptera : Bethy lide) in Shikoku. (四国におけるハマキアリガタバチの寄生蜂-英文-)
Trans. Shikoku Ent.Soc.12 (1-2) : 45-46.
- 定作 昭・行成正昭・黒上九三郎 (1974).
土壤管理法が温州ミカン若木の成長, 収量, 品質に及ぼす影響.
愛媛果試編 : 温暖寡雨地帯におけるカンキツの品質改善に関する研究 (中核試験共同研究)
128-132頁
- 和田英雄・秋成 昇・定作 昭・行成正昭 (1974).
チッ素施用量と温州ミカン若木の収量, 品質に関する試験.
愛媛果試編 : 温暖寡雨地帯におけるカンキツの品質改善に関する研究 (中核試験共同研究)
168-172頁.
- 和田英雄・堀金正己・定作 昭・黒上九三郎 (1974).
リン酸施用法と温州ミカン若木の収量, 品質に関する試験.
愛媛果試編 : 温暖寡雨地帯におけるカンキツの品質改善に関する研究 (中核試験共同研究)
173-177頁.
- 行成正昭 (1976).
徳島県におけるリンゴコカクモンハマキおよびチャノコカクモンハマキ幼虫の寄生性天敵.
日応動昆会誌 20(1) : 15-20.
- Yukinari, M. (1976).
Parasites attacking the larvae of *Adoxophyes orana* FISHER VON ROSLERSTAMM and *A. fasciata* WALSUNGHAM in Tokushima.
jap. J. appl. Ent. Zool. 20(1) : 15-20.
(Japanese with English summary).
- 行成正昭 (1976).
ナシ園におけるリンゴコカクモンハマキとチャノコカクモンハマキに関する研究
1 両種の非休眠幼虫の頭部成長について.
四国植物防疫研究11 : 1-5.
- 行成正昭 (1976).
ナシ園におけるリンゴコカクモンハマキとチャノコカクモンハマキに関する研究
2 両種の越冬習性の比較.
四国植物防疫研究11 : 7-13.
- 定作 昭・行成正昭 (1976).
ハッサク果実の手もぎ採取法に関する研究.
徳島果試研究報告 5 : 13-30.
- 柴田精治・村上 来・行成正昭 (1976).
スプリングラー利用によるナシ園の病虫害防除に関する研究.
徳島果試研究報告 5 : 51-73.
- 村上 来・前田 知・黒上九三郎 (1976)
平核無の変異樹とその特性調査.
徳島果試研究報告 5 : 97-102.
- 村上 来・前田 知・黒上九三郎 (1976)
ウメの樹脂障害果の発生と防止に関する研究.
徳島果試研究報告 5 : 75-96.
- 行成正昭 (1976).
ハマキアリガタバチの生態的特性に関する研究.
徳島果試研究報告 5 : 103-114.
- Yukinari, M. (1976).
Biological studies of *Goniozus Japonics* AXH-MEAD (Hymenoptera : Bethylidae) Bull.
Tokushima Hort. Exp. Sta, 5 : 103-114 (Japanese with English summary)

- 行成正昭 (1976).
ナシ園におけるリンゴコカクモンハマキとチャノコカクモンハマキに関する研究.
3 ナシ葉におけるリンゴコカクモンハマキ幼虫の加害習性.
徳島果試研究報告 5:115-116.
- 行成正昭 (1976).
徳島県のナシ園およびその付近の生垣におけるハマキガ類の寄生性天敵.
日応動昆 20(4):208-211.
- 行成正昭 (1977).
人工飼育のチャノコカクモンハマキ幼虫によるハマキアリガタバチの飼育.
日応動昆 21(2):108-110.
- 赤井昭雄・柴田精治・中川正視 (1978).
テラウエアブドウの生育に及ぼすポリリン酸系葉面散布剤の休眠期処理の影響.
徳島果試研報 7:23-31.
- 柴田精治・赤井昭雄・黒上九三郎・中川正視 (1978).
ニホンナシ「新水」の栽培特性と果実の日持ちに関する研究.
徳島果試研報 7:7-22.
- 行成正昭 (1978).
徳島県のナシ園およびその周辺におけるハマキガ類の卵寄生蜂キイロタマゴバチの寄生状況.
徳島果試研報 13:21-27.
- 赤井昭雄・中島光広・賀川 実 (1980).
ナシの降雹害
徳島果試研報 9:1-6.
- 賀川 実 (1980).
温州ミカンに対する多量要素の施用とミカンハダニの増殖.
徳島果試研報 9:19-23.
- 井内 晃・永井洋三・山本滝子・柴田精治・赤井昭雄 (1981).
スピードスプレーヤー (SS) のオペレーターに対する農薬の付着防止.
徳島農試研報 19:38-43.
- 村上 来 (1982).
ビワの日焼け症の発生生態とその防除.
徳島果試研報 10:13-21.
- 定作 昭 (1983).
ハッサク果実の形質におよぼす受粉樹混植の影響.
徳島果試研報 11:1-8.
- 和田英雄・山尾正実・赤井昭雄・森 聡 (1984).
徳島平野東部の水田転換ナシ園におけるクロロシスについて.
(第1報) 発生状況, 葉中無機成分および土壌化学性.
徳島果試研報 12:9-16.
- 行成正昭・賀川 実 (1985).
ヤノネカイガラムシに対する導入寄生蜂ヤノネキイロコバチの越冬状況と寄主との同調性
徳島果試研報 13:7-16.
- 和田英雄・森 聡・赤井昭雄 (1986).
徳島平野東部の水田転換ナシ園におけるクロロシスについて.
(第2報) キレート鉄の施用効果
徳島果試研報 14:21-29.
- 小池 明 (1988).
スダチの胚培養による交雑実生の獲得について.
徳島果試研報 16:9-23.
- 柴田好文 (1989).
無核種スダチの果実肥大に及ぼすジベレリン, ベンジルアデニンおよび受粉の影響について.
徳島果試研報 17:1-10.
- 辻 雅人・大和浩国・定作 昭・宮川経邦・脇川勝美 (1989).
ステムピッチング病 (萎縮病) 対策のためのハッサク母樹の選抜とその経過.
徳島果試研報 17:21-28.
- 小池 明 (1992).
堆肥の施用が新規開発果樹園土壌の理化学性ならびにモモ樹の生育と果実品質に及ぼす影響.
徳島果試研報 20:11-22.

柴田精治・小池 明・長谷部秀明 (1993).

補光がハウス栽培のナシ'幸水'の果実発育, 品質および新梢伸長に及ぼす影響.

徳島果試研報 21: 1-13.

山尾正実・小池 明・音井 格・徳永忠士・定作 昭 (1993).

スタチ 4 倍体果実の特性と胚培養.

徳島果試研報 21: 14-22.

徳永忠士・山尾正実 (1994).

電気融合法によるスタチとユズの対細胞雑種の獲得.

徳島果試研報 22: 14-20.

赤井昭雄・佐尾山祥史・三木 晃 (1995).

ミツバチ誘引剤によるナシ受粉効果試験.

徳島果試研報 23: 18-26.

徳永忠士・竹中美香・赤井昭雄 (1996).

RAPD マーカーによるスタチとレモンの交雑実生の識別.

徳島果試研報 24: 13-17.

佐尾山祥史・赤井昭雄・三木 晃・平瀬早苗 (1996).

モモ果実の短期貯蔵に関する試験.

徳島果試研報 24: 19-25.

村上 来 (1997).

薬剤の休眠期処理によるモモいぼ皮病の抑制効果.

徳島果試研報 25: 1-7.

竹中美香・徳永忠士・平林利郎・赤井昭雄 (1997).

フローサイトメーターを用いた 3 倍体香酸カンキツの簡易選抜.

徳島果試研報 25: 17-20.

Tadashi Tokunaga, Masami Yamao, Mika Takemura, Teruo Akai and Sozo Kobayashi

Somatic Hybrid Plants produced by Electrofusion between Sudachi (*Citrus sudachi*) and Yuzu (*C. junos*). J. Japan. Soc. Hort. Sci. (In contribution)

学会発表講演要旨

前田 知 (1954).

柿炭そ病の冬芽越冬について.

園芸学会昭和29年度秋季大会研究発表要旨
P. 1.

前田 知・塩田芳之 (1958).

柿果実の呼吸に関する研究.

園芸学会昭和33年度春季大会研究発表要旨
P. 10.

前田 知・多田良行・城浦治男 (1959).

カキ果実の蒂の機能に関する研究 (第 1 報) 蒂部裂果現象の観察ならびに果実の浸透圧との関係.

園芸学会昭和34年度春季大会研究発表要旨
P. 8.

前田 知・多田良行・城浦治男 (1959).

カキ果実の蒂の機能に関する研究 (第 3 報) カキ果実の通水性, 蒸散作用と落果の関係.

園芸学会昭和34年度秋季大会研究発表要旨
P. 5.

前田 知・多田良行・城浦治男 (1959).

カキ果実の蒂の機能に関する研究 (第 5 報) カキ果実における生長調節物質の消長.

園芸学会昭和34年度秋季大会研究発表要旨
P. 5.

前田 知・多田良行 (1960).

カキ果実の蒂の機能に関する研究 (第 4 報) カキ果実諸器官の季節的発育過程.

園芸学会昭和35年度春季大会研究発表要旨
P. 1.

前田 知・城浦治男 (1963).

長十郎ナシに対する RP 剤の利用試験 (第 1 報) RP 剤の種類, 濃度, 散布時期と熟期促進効果との関係.

園芸学会昭和38年度春季大会研究発表要旨
P. 8.

城浦治男・村上 来・前田 知 (1963).

カキ果実の着色に及ぼす RP 剤の効果.

園芸学会昭和38年度春季大会研究発表要旨
P. 49.

- 前田 知・多田良行・城浦治男・福居幸治 (1963).
富冇柿の季節的乾燥処理と果実発育の關係調査.
園芸学会昭和38年度春季大会研究発表要旨
P. 49.
- 村上 來・前田 知 (1963).
早生モモのジベレリン処理効果試験.
園芸学会昭和38年度春季大会研究発表要旨
P. 50.
- 福居幸治・前田 知 (1963).
クリのゴマダラノメイガ防除試験.
園芸学会昭和38年度中四国支部大会発表要旨
P. 8.
- 多田良行・福居幸治 (1963).
ブドウ晩腐病に関する試験.
園芸学会昭和38年度中四国支部大会発表要旨
P. 8.
- 城浦治男・多田良行・前田 知 (1963).
カキ炭そ病に対する薬剂防除試験.
園芸学会昭和38年度中四国支部大会発表要旨
P. 10.
- 山本弥栄・森岡節夫・定作 昭 (1964).
カンキツ園の除草剂作用に関する研究 (第3報)
強勢雑草の殺草効果とカラタチ実生に対する薬害
について.
園芸学会昭和39年度秋期大会発表要旨 P. 13.
- 前田 知・村上 來・行成正昭 (1968).
ウメの樹脂障害果に関する研究 (第1報) 樹脂障
害果の発生生態と組織学的觀察.
園芸学会昭和43年度中四国支部大会発表要旨
P. 306.
- 中川正視・柴田精治・前田 知・真淵敏治 (1970).
シエーカーによるウメの収穫試験.
園芸学会昭和45年度春期大会発表要旨
P. 352.
- 脇川勝美, 大和浩国・宮川経邦 (1971).
萎縮病対策のためのハッサク母樹の選抜と育成.
園芸学会昭和46年度秋期大会発表要旨 P. 10.
- 村上 來・前田 知・黒上九三郎 (1973).
ウメの樹脂障害果の発生防止に関する研究 (第2
報)
樹脂障害果の特徴と発生状態ならびに程度別葉分
析.
園芸学会昭和48年度春季大会発表要旨
P. 90-91.
- 村上 來・前田 知・黒上九三郎 (1973).
ウメの樹脂障害果の発生防止に関する研究 (第3
報)
ほう素と樹脂障害果との關係ならびに葉面散布効
果.
園芸学会昭和48年度春季大会発表要旨
P. 92-93.
- 黒上九三郎・柴田精治・赤井昭雄・前田 知
(1974).
早生ナシの立体的垣根栽培 (第1報) 樹形および
品種別生態・収量について.
園芸学会昭和49年度秋季大会発表要旨
P. 36-37.
- 定作 昭・行成正昭・黒上九三郎 (1974).
ハッサクの手もぎ採収法に関する研究.
園芸学会昭和49年度秋季大会発表要旨
P. 104-105.
- 行成正昭 (1974).
リンゴコカクモンハマキの寄生性天敵ハマキアリ
ガタバチの生態学的研究.
日応動昆大会講要 P. 325.
- 村上 來 (1975).
ビワの異常障害果の発生とその防止法に関する研
究 (第1報) 異常障害果の発生実態ならびに雨量,
ほう素含量, ほう素含量と発生との關係.
園芸学会昭和50年度秋季大会発表要旨 P.
64-65.
- 赤井昭雄・柴田精治・中川正視 (1976).
ポリリン酸系葉面散布剤によるハウスブドウ (デ
ラウエア) の熟期促進について.
園芸学会中四国支部昭和51年度大会発表要旨
P. 24.

定作 昭・行成正昭・中川正視・山本博之・武市誠介・市原善文 (1977).

スダチの周年供給体系に関する研究 (第1報)
ハウス栽培の特性について.

園芸学会昭和52年度秋季大会発表要旨
P. 68-69.

柴田精治・赤井昭雄・中島充広 (1979).

ナシの三角波状だなについて.

園芸学会中国四国支部昭和54年度大会発表要旨
P. 20.

柴田好文・賀川 実 (1986).

スダチの果実肥大に及ぼすGA, BA および受粉の効果.

園芸学会中国四国支部昭和61年度大会発表要旨
P. 27.

柴田精治・小池 明 (1990).

ナシの補光栽培試験.

園芸学会雑誌, 59 (別2) : 790.

山尾正実・徳永忠士 (1992).

スダチにおける倍数性育種.

日本育種学会四国談話会会報 26 : 41-42.

徳永忠士・山尾正実 (1993).

電気融合法によるスダチとユズの細胞融合.

日本育種学会四国談話会会報 27 : 33-34.

徳永忠士・山尾正実 (1993).

スダチ種子へのアジ化ナトリウム処理による有用変異体の作出.

日本育種学会四国談話会会報 27 : 54-55.

徳永忠士・山尾正実 (1994).

スダチとユズの細胞融合植物の特性.

日本育種学会四国談話会会報 28 : 15.

小池 明 (1995).

メッシュ気象データ利用によるモモの気候適地性マップの作成.

園芸学会雑誌, 64 (別2) : 712.

山尾正実・徳永忠士 (1995).

高糖系温州の珠心胚利用による選抜育種.

日本育種学会四国談話会会報 29 : 23-24.

徳永忠士・大村三男・日高哲志・山尾正実 (1995).
PCRによる香酸カンキツ類の系統診断.

日本育種学会四国談話会会報 29 : 32.

徳永忠士・竹中美香・赤井昭雄 (1996).

RAPD マーカーを利用した香酸カンキツ雑種の識別.

日本育種学会四国談話会会報 30 : 18-19.

徳永忠士・竹中美香・赤井昭雄 (1996).

電気融合によるウンシュウミカン (Citrus unshiu) とユズ (C.junos) の細胞質雑種の作出.

日本育種学会四国談話会会報 30 : 27-28.

徳永忠士・山尾正実・竹中美香・赤井昭雄 (1997).

倍数性育種による無核香酸カンキツの育成.

日本育種学会四国談話会会報 31 : (印刷中)

調査・報告

黒上九三郎・佐金信治・音井 格・長谷部秀明・賀川 実 (1981).

四国地域における昭和56年2月の異常寒波による果樹被害の実態と解析.

II 昭和56年のカンキツ類の寒害の実態と解析

2 寒害の実態調査結果と栽培技術上の問題点. (徳島県)

四国農業試験場報告 別巻 2 : 14-27.

3 寒害に対する今後の技術改善方策. (徳島県)

四国農業試験場報告 別巻 2 : 78-83.

定作 昭 (1983).

香酸カンキツ類の安定供給技術の改善.

四国地域農業試研研究推進会議 (昭和58年度) 報告 別号2 : 5-6

宮川経邦・和田英雄・大和浩国・定作 昭・黒上九三郎 (1983).

香酸カンキツ類の安定供給技術の改善.

四国農試農業試研研究推進会議 (昭和58年度) 報告 別号1 : 20-28.

赤井昭雄 (1984).

デラウエアブドウの無核果省力技術 (噴霧による無核果処理効果の実用化の検討).

四国農業試研研究推進会議 (昭和59年度) 報告 別号 : 85-86.

- 宮川経邦・中川正視・黒上九三郎・佐金信治・音井格・長谷部秀明・大和浩国・和田英雄・山尾正実・定作 昭 (1984).
香酸カンキツ類の安定供給技術 2. スダチの栽培と周年出荷.
四国地域普及技術レポート (昭和58年度) 7 : 40-52.
- 黒上九三郎・佐金信治・音井 格・長谷部秀明・賀川 実・定作 昭・田辺 弘 (1985).
昭和56年 (1981) 2月寒害からのカンキツ産地の回復経過の解析 (報告)
徳島県における寒害被災地の回復経過の実態と問題点.
黒上九三郎・佐金信治・音井 格・長谷部秀明・賀川 実・定作 昭・田辺 弘 (1985).
カンキツ寒害の回復のための技術対応と効果 (報告).
徳島県における寒害回復力技術対応と効果.
四国農試報告 (昭和60年度) 別巻 3 : 24-25.
四国農業試験研究推進会議 (昭和60年度) : 43-44.
- 赤井昭雄 (1986).
キウイフルーツの常温長期貯蔵法 (エチレン吸着材によるキウイフルーツ貯蔵試験).
四国農業試験研究推進会議 (昭和60年度) : 43-44.
- 賀川 実 (1986).
カキクダアザミウマの適正防除 (徳島県におけるカキクダアザミウマの発生生態).
四国地域農業試験研究推進会議 (昭和60年度) : 51-52.
- 黒上九三郎・長谷部秀明・和田英雄・村上 來 (1986).
瀬戸内傾斜地帯における核果類 (モモ・ウメ・スモモ) の生産力増強と品質向上技術.
四国農業試験研究推進会議 (昭和61年度) 報告別号 1 : 45-53.
- 賀川 実 (1987).
柿の新害虫“カキクダアザミウマ”の生態と防除.
徳島県植物防疫協会
- 赤井昭雄 (1987).
キウイフルーツの人工受粉用花粉の採取並びに貯蔵法 (花粉の採取及び貯蔵に関する試験).
四国農業試験研究推進会議 (昭和61年度) : 71-72.
- 赤井昭雄 (1988).
キウイフルーツの人工授粉と降雨の関係.
四国地域農業関係研究成果情報 (昭和62年度) : 139-140.
- 定作 昭 (1988).
ハッサクへの4倍体ナツガイダイの受粉技術.
四国地域農業関係研究成果情報 (昭和62年度) : 141-142.
- 小池 明 (1990).
アンズ, モモの花粉によるスモモの人工授粉.
四国地域農業関係研究成果情報 (平成元年度) : 109-110.
- 村上 來・大和浩国・小池 明・松家義克 (1990).
休眠期の薬剤散布によるモモいぼ皮病の防除.
四国地域農業関係研究成果情報 (平成元年度) : 135-136.
- 赤井昭雄・佐尾山祥史 (1992).
ジベレリン無核処理巨峰の花穂整形時に, 優良果房形を得るための花穂長判定.
四国農業研究成果情報 (平成4年度) 53-54.
- 赤井昭雄・佐尾山祥史 (1993).
短梢剪定‘巨峰’の休眠期芽傷処理による芽飛び防止法.
四国農業研究成果情報 (平成5年度) 165-166.
- 赤井昭雄 (1994).
ナシ受粉作業によるミツバチ誘引剤 (フェロモン) の利用法
四国農業の新しい技術. (4) : 23-29.
- 赤井昭雄・佐尾山祥史・三木 晃 (1994).
ミツバチ誘引剤 (フェロモン) によるナシ受粉作業の効率化.
四国農業研究成果情報 (平成6年度) 88-89.

佐尾山祥史・赤井昭雄 (1994).

モモの高湿度冷蔵, またはポリエチレン個装冷蔵
による販売期間の延長.

四国農業研究成果情報 (平成 6 年度) 90-91.

村上 来・福田雅仁 (1996).

クローラ型ノズル回動式防除機のかき樹への適用.

四国農業研究成果情報 (平成 8 年度) 62-63.

小池 明 (1996).

防寒布を用いた日本なし「幸水」の熟期促進.

四国農業研究成果情報 (平成 8 年度) 64-65.

竹中美香・徳永忠士 (1996).

フローサイトメーターを用いた 3 倍体香酸カンキ
ツの簡易選抜.

四国農業研究成果情報 (平成 8 年度) 66-67.

総説および解説

前田 知 (1953).

リンゴの暖地栽培法

農業と文化四国版 (農文協) 50, 30 : 30-33.

前田 知 (1961).

柿果実の品質向上に関する諸問題

和歌山の果樹 (和歌山県) 12, 10 : 2-17.

前田 知 (1963)

トライロン利用のナシの早出し栽培

農耕と園芸18, 5 : 87-89.

前田 知 (1963).

新ホルモン剤と長十郎ナシの早熟栽培

果実日本18, 5 : 44-52.

前田 知 (1965).

果樹の新しい仕立て方 整枝と剪定①~⑤

園芸新知識 (20) ,1,2,3,5.

前田 知 (1965)

果樹の新しい仕立て方 ブドウの整枝と剪定のや
り方

園芸新知識 (20) 6, 50.

前田 知 (1965).

果樹の新しい仕立て方 ナシの整枝と剪定のやり
方

園芸新知識 (20) 7, 42.

前田 知 (1965).

果樹の新しい仕立て方 カキの整枝と剪定のやり
方

園芸新知識 (20) 8, 54.

前田 知 (1965).

果樹の新しい仕立て方 クリの整枝と剪定のやり
方

園芸新知識 (20) 9, 44.

前田 知 (1965).

果樹の新しい仕立て方 モモの整枝と剪定のやり
方

園芸新知識 (20) 10, 35.

前田 知 (1965).

果樹の新しい仕立て方 ウメの整枝と剪定のやり
方

園芸新知識 (20) 11, 54.

前田 知 (1965).

果樹の新しい仕立て方 ミカンの整枝と剪定のや
り方

園芸新知識 (20) 12, 52.

前田 知 (1965).

空地を使ってウメをうまく作るには 密植からな
りはじめまでのポイント

現代農業44, 11 : 124-127.

前田 知 (1966).

ウメの不作はなくせる (原因と対策)

現代農業45, 3 : 134-137.

前田 知 (1966).

着実にのびている徳島のハウスジベデラの栽培

農耕と園芸21, 8 : 159.

前田 知 (1968).

西ヨーロッパ見てある記

農協とくしま 95, 11.

前田 知 (1968).

果樹づくりの目 ③カキ巨木の接木方法

現代農業47, 3 : 20.

前田 知 (1968).

果樹づくりの ④病気, 害虫の退治法

現代農業47, 4 : 20.

- 前田 知 (1968).
果樹づくりの ⑤早どまりの枝をつくろう
現代農業47, 5 : 20.
- 前田 知 (1968).
果樹づくりの ⑧モモの芽つぎ
現代農業47, 8 : 20.
- 前田 知 (1968).
世界的な適地生産へ向かう果樹園芸
農耕と園芸23, 12 : 165-167.
- 村上 来 (1968).
柿の病害防除とダイホルタン水和剤
農薬 54 : 38-41.
- 前田 知 (1969).
商品価値を低くするウメの樹脂障害とその対策
農耕と園芸24, 5 : 212-213.
- 前田 知 (1971).
作業ごよみ, カキ, クリ, ウメ
現代農業50, 12 : 188.
- 黒上九三郎 (1973).
早期収量が上がる早生ナシの立体的かき根仕立
農耕と園芸28, 10 : 243-245.
- 村上 来 (1974).
オーソサイド水和剤によるなしの病害防除
農薬ニュース (トーマン) 65 : 19-22.
- 黒上九三郎 (1974).
早期多収をねらう早生ナシの垣根仕立て栽培
家の光50, 2 : 280-283.
- 柴田精治 (1974).
三水の行動と栽培のポイント
因伯之果樹 (鳥取県) 28, 7 : 24-25.
- 黒上九三郎 (1975).
スーパー平核無について
果実日本30, 9 : 66-68.
- 定作 昭 (1976).
スタチのハウス栽培
農耕と園芸31, 3 : 216-218.
- 定作 昭 (1976).
果樹園の土づくり (ハッサク)
果実日本31, 2 : 24-26.
- 村上 来 (1977).
ビワの日焼け果
果実日本32, 6 : 66-67.
- 行成正昭 (1977).
暖地梨を加害するハマキムシ類の生態
今月の農業21, 9 : 99-103.
- 音井 格・中川正視 (1977).
「新しい研究」温州ミカンの更新方法
柑橘 (静岡県) 29 : 8, 78-80.
- 村上 来 (1977).
カキスーパー平核無のわい化栽培技術と将来性
農耕と園芸32, 6 : 225-227.
- 定作 昭 (1977).
甘ナツ花粉受粉による大玉ハッサクの生産技術
農耕と園芸32, 7 : 213-215.
- 村上 来 (1978).
渋ガキの大量脱渋方法
果実日本33, 11 : 36-40.
- 定作 昭 (1978).
スタチのハウス栽培.
柑橘 30(4) : 39-44.
- 定作 昭 (1978).
ハッサクの多収技術.
山口のかんきつ 30(6) : 22-26.
- 定作 昭 (1978).
大玉八朔の生産技術.
果樹園芸 30(6) : 20-24.
- 村上 来 (1978).
柿の諸病害に対するトップジンM水和剤の効果.
農薬時代 135 : 6-11.
- 村上 来 (1978).
渋ガキの大量脱渋方法.
果実日本 33(11) : 36-40.
- 定作 昭 (1979).
大玉八朔の生産技術対策.
長崎の果樹 16(2) : 38-43.
- 村上 来 (1980).
カキ脱渋のいろいろ.
農耕と園芸 35(9) : 254-255.

- 赤井昭雄・柴田精治 (1982).
ニホンナシ新水果実の日持ちに関するカラーチャートの利用.
果実及び葉のカラーチャートの開発と利用方法に関する試験研究 (農林水産省果樹試験場).
P. 112.
- 村上 来 (1982).
カキわい性平核無の特性と栽培.
農業及び園芸 57(5) : 667-670.
- 村上 来 (1982).
平核無柿の簡易大量脱渋法.
農業及び園芸 57(3) : 427-432.
- 村上 来 (1982).
カラーチャートによる貯蔵果実の果色について.
果実及び葉のカラーチャートの開発と利用方法に関する研究集録 (農林水産省果樹試験場).
P. 240-241.
- 村上 来 (1982).
共選場における脱渋処理でのカキの果色の変異.
果実及び葉のカラーチャートの開発と利用方法に関する研究集録 (農林水産省果樹試験場).
P. 242-245.
- 賀川 実 (1983).
試験地・分場の四季 徳島県果樹試験場の巻
農業技術 38(3) : 141.
- 定作 昭 (1984).
スダチの栽培と周年出荷
四国地域普及技術レポート 7 : 40-52.
- 村上 来 (1986).
徳島県におけるナシの病害とトリフミン水和剤について
農業新時代 155 : 16-18.
- 村上 来 (1988).
果樹園管理 (ウメ) のポイント
果実日本. 43(2) : 104-105. 43(4) : 103-104. 43(6) : 102-103. 43(8) : 106-107. 43(10) : 103-104. 43(12) : 102-103.
- 村上 来 (1989).
柿の病害防除とルミライト水和剤について.
農業時代. 159 : 12-17.
- 赤井昭雄 (1989).
キウイフルーツ花粉の人工培養試験
農業及び園芸. 64 : 11, 85-87
- 柴田精治・小池 明 (1990).
ハウスナシの補光栽培試験.
農業電化 特集号 : 35-38.
- 村上 来 (1990).
ウメのハウ素欠乏症と生理障害果症状.
果実日本. 45(5) : 74-76.
- 定作 昭 (1990).
各地の古木・名木 徳島のスダチ古木.
果実日本. 45(11) : 54-57.
- 柴田精治・小池 明 (1990).
ハウスナシの補光栽培試験
農業電化 別冊特集号 35-38.
- 村上 来 (1991).
梨の休眠期防除とホーマイコート水和剤.
農業時代. 163 : 16-99.
- 柴田精治 (1992).
ナシ立体仕立て栽培に補光 増収効果が見えてきた.
現代農業. 5月号 : 256-259.
- 赤井昭雄 (1994).
ジベレリン無核処理の巨峰における高品質果実生産指針
今月の農業 9, 90-94.
- 赤井昭雄 (1995).
彩りの品質保持技術の開発について.
農業電化 別冊特集号 : 36-41.
- 村上 来 (1995).
カキ炭そ病の発生生態と防除.
今月の農業 6 : 84-88.
- 赤井昭雄 (1996).
ミツバチ誘引剤 (フェロモン) によるナシ受粉作業の効率化
果実日本51, 2 : 70-73.
- 赤井昭雄 (1996).
ミツバチ誘引剤 (フェロモン) によるナシ受粉作業の効率化.
落葉果樹 (福島県) 4, 22-24.

赤井昭雄 (1996).

フェロモンで蜜蜂を園地にくぎづけ

現代農業 4, 292-295.

村上 来 (1996).

徳島県におけるナシの病害とその防除

農薬ニュース (トーマン) 78: 7-10.

赤井昭雄 (1997).

ナシ受粉作業におけるミツバチ誘引剤の利用法

今月の農業 1, 46-50.

赤井昭雄 (1997).

スタチの周年供給とマーケット対策

農業技術 52(8), 12-17.

平瀬早苗 (1997).

ブドウハウス栽培でのフェンス仕立て技術.

農耕と園芸 2: 164-166.

小池 明 (1998).

ノズル回転式スプレーヤーにおける日本ナシ, カ

キ及びウメの防除効果.

果実日本 53(1): 97-99.

小池 明 (1998).

省力・軽労働化に対応したウメの樹形と整枝せん

定.

農耕と園芸 2: 151-153.